



HPはこちら

## 今年のお盆期間のご利用状況は 昨年同期間と比べ **約2倍** に回復！

J R 東日本が8月18日に発表した8月10日から8月17日までの「お盆期間」のご利用状況は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限がなかったことなどから、昨年同期間と比較して倍増となりました。

「第1四半期決算」が3期ぶりの黒字となったいま、お客さまのご利用は「安全・安定・安心輸送」のもとで好調に推移しています。

### ★「お盆期間」新幹線・在来線特急のご利用状況（主要16区間の合計）

	2022年	2021年	対前年比
下り	119.7万人	58.1万人	206%
上り	117.7万人	61.7万人	191%
合計	237.4万人	119.8万人	198%

### ★主な駅のご利用実績（交通系ICカードによる自動改札利用延べ人員等）

駅名	2022年	2021年	対前年比
東京	91.3万人	(86.5万人)	163%
新宿	183.0万人	(196.9万人)	144%
舞浜	25.4万人	(17.6万人)	225%

※2021年の人員は8月6日から17日までの12日間の数値（比較の参考として）

## 期末手当は一時金である！

J R 東日本の発表では、コロナ前の2018年の同時期の数値とあえて比較し、新幹線・在来線特急のご利用状況は59%、近距離でも73%と「絶好調時の数値には、まだまだ及ばない」と言いたげではありますが、近距離においては新型コロナウイルス終息後の予想数値に近いところまで、回復してきています。

期末手当（夏季手当、年末手当）は、長期にわたり経営状況に影響しない「一時金」という性質を持っています。私たちは過去に業績好調時でも出し渋ってきたことを忘れることなく、物価上昇が続く中、安定した生活ができる2022年度年末手当を勝ちとっていきましょう！

## 勝ちとるぞ年末手当！